

「水道橋畔発」発刊にあたって

水道橋病院病院長 柿澤 卓

本誌発刊にあたって一言ご挨拶申し上げます。

この度、病院長に就任し第一に考えましたことは、歯科大学病院とどのような機能と機構を持たなければならないかということでありま

す。その結果、水道橋病院は首都圏同窓をはじめとするご開業の先生方に、頼みとされる基幹型の歯科病院でなければならないと言うことで、病診連携が最も重要であるとの結論に達しました。現在多くの先生方から患者紹介を頂き、病診連携は一応功を奏しているように自負しておりますが、大学病院は情報の発信基地でもなければなりません。数年前より「口腔外科症例報告会」などを催して、情報提供にも心掛けて参りましたが、この度、病院全体各分野にわたる新しい情報を、先生方へ発信する情報誌「水道橋畔発」を発行することにいたしました。

水道橋病院は平成2年にTDCビルに新生したとはいえ、その伝統は古く、写真は昭和初期の「附属病院の組織図」であります。院長 花澤 鼎教授以下そうそうたる先生方で構成されておりますが、下って現在はその孫弟子、ひ孫弟子が病院を担い頑張っているわけです。しかし、歯科界は日ごとに厳しさを増し、伝統にばかり甘えている時代は、既に終わりを告げたと言っても過言ではありません。これからは厳しい評価と競争の時代に突入するわけで、この発刊も本院改革の一環と考えております。

しかしながら、伝統に培われたノウハウは大変な宝でもありますから、伝統を忘れないように誌名は、校歌にもある「水道橋畔発」としました。本誌の編集は中堅を起用

し、新しい意気込みで版を重ねたいと思いますので、ご愛読の程よろしくお願い申し上げます。

なお、これより水道橋病院は思い切った機能と機構の改革の秋を迎えますが、昔日の輝かしい伝統から脱皮し、講座を超えた新しい枠組みを求めて邁進したいと決意を固めておりますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、衷心よりお願いする次第です。

第4回水道橋病院口腔外科症例報告会のご案内

例年、多くの先生のご参加をいただいております口腔外科症例報告会を下記の通り行うこととなりました。今回は従来の発表に加えて、本学微生物学講座の奥田教授による特別講演を企画いたしました。奮ってのご参加をお待ちしております。

平成17年4月14日（木）16時～（予定）

1）口演、ポスター発表による症例報告

2）特別講演 微生物学講座 奥田克爾 教授

演題「抗菌薬は口腔バイオフィルム感染症には無効である」

*報告会終了後、水道橋グリーンホテルにて懇親会を予定しております。

口腔インプラント科紹介

水道橋病院口腔インプラント科 関根秀志

●口腔インプラント科 開設

近年、インプラント治療は術式と材料の改良が進み、その予知性が向上し、良好な成績が数多く報告され、徐々に臨床応用が増えつつあります。東京歯科大学水道橋病院では、1983年にイエテボリ大学ブローネマルク教授の執刀でインプラント治療が開始されました。その後、1985年には厚生省より高度先進医療の認定を受け、補綴科と口腔外科のスタッフを中心に、20余年に渡りインプラント治療を行ってまいりました。

そして、患者様からのより具体的なご要望にこたえるた



付属病院の組織図
水道橋病院所蔵

めに、2001年3月に開設されました専門外来の一部門として、インプラント外来がスタートしました。インプラント外来では、毎週火曜日を診療日として、補綴科、口腔外科、保存科ならびに麻酔科のスタッフに加えインプラント治療のエキスパートである非常勤講師の先生方のご協力を得てインプラント治療が実施され、足掛け3年の期間に約300名の患者様方を拝見いたしました。

その間、水道橋病院では、インプラント治療を望まれて来院される患者様が増加し、週1日の診療日ではインプラントに関連する十分な歯科医療サービスを提供し続けていくことが困難との予想により、昨年2003年10月に口腔インプラント科が新設されることとなりました。ほぼ一年を経過いたしました現状をご報告いたします。

●コンセプトは？

口腔インプラント科では、歯科インプラントを、単に歯の欠損を人工物で補うための方法として実施するだけでなく、残存歯ならびに歯周組織を中心とした顎・口腔系の健康を、長期に維持していくための一つのオプションと捉え、関連各科の先生方、歯科衛生士、技工士の方々との密な連携の元に、総合的な診療を行っていくことを目標としております。とりわけ、多様な患者様が来院される水道橋病院の特殊性から、患者様ごとに異なるニーズを的確に把握し、歯科治療に対し十分に満足していただくことが求められております。従来、インプラント適用が困難と考えられてきた症例あるいは審美性の回復がきわめて強く求められる症例などに対しましても、各科の先生方の専門性の高い歯科診療を総動員し、適切に組み合わせることにより、きめ細やかに対応させていただくことを心がけております。

●診療内容は？

現在、初診患者様への対応、適用診断からインプラントを利用した咬合の再構成に関るもろもろの処置を、水道橋病院3階の口腔インプラント科外来にて行う一方、麻酔科



鎮静麻酔下でのインプラント埋入手術

にご協力いただき、静脈内鎮静下あるいは日帰りの全身麻酔による埋入処置なども行っております。さらに、定期健診における口腔衛生状態の管理を、専門外来の一部門である口腔ケア外来の歯科衛生士とともに行っております。

ご紹介をいただきました患者様には、欠損歯列へのインプラント治療はもとより、インプラント適用診断あるいはセカンドオピニオンとしてお問合せへも対応いたしております。また、口腔外科・放射線科との協力体制のもと、診断用ガイドを応用した画像診断をお引き受けする一方、インプラント治療の前準備としての骨造成・骨移植処置などを実施しております。

●お問合せは？

常時お受けいたしておりますが、初診時よりご予約を頂戴しております。患者様から、直接、お電話、ファックスあるいはメールにて事前にご連絡いただき、ご来院いただきました際にはお問合せへの説明に十分な時間を確保いたしております。ご紹介状あるいはエックス線写真などの資料をお持ちいただければ幸いです。

口腔インプラント科は診療科開設後、まだ、間もなく、整わぬ点が多々ありますが、定期的な勉強会、症例検討会などを実施し、近隣の先生方との連携をさらに深めるシステムにつきましても検討中です。今後とも、なにとぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

水道橋病院 口腔インプラント科

tel：03-5275-1760 fax：03-3262-3420

科 長 関根秀志 sekine@tdc.ac.jp

医局長 田口達夫 taguchi@tdc.ac.jp



口腔インプラント科主催の勉強会

歯科麻酔科併設専門外来の紹介

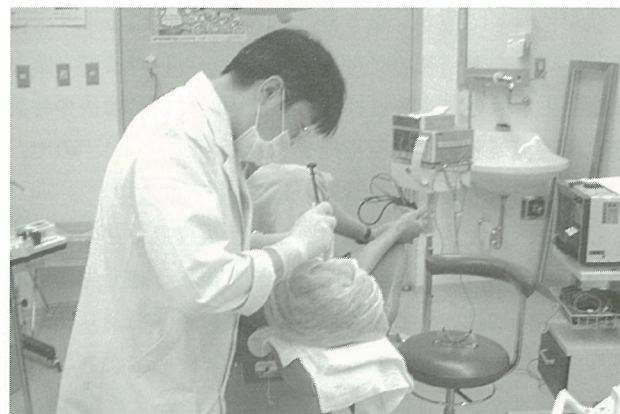
東京歯科大学水道橋病院歯科麻酔科 福田謙一

歯科麻酔科外来には、二つの専門外来を併設しています。

●**口腔顔面痛みセンター**（平成12年11月開設）は、通常の歯科診療では診断が困難で痛みが取れない口腔顔面領域の特殊な痛み（原因不明の歯痛の他、難治な抜髄後痛及び抜歯後痛、咀嚼筋痛、顎関節痛、舌痛、口腔粘膜痛、神経障害後痛、帯状疱疹後神経痛、三叉神経痛）の他、しびれ、神経麻痺、異常感覚などをお持ちの患者さんを対象にした施設です。治療内容は、星状神経節ブロックなどの各種神経ブロック、顎関節内洗浄、点滴治療、漢方治療、口腔内ステント療法、各種理学療法など多種多様に行っています。

●**リラックス治療外来**（平成13年3月開設）は、歯科治療に嫌悪感や恐怖心をお持ちの患者さん、過去の歯科治療時に脳貧血状態や過換気状態になられた患者さん、嘔吐反射が強く通常の治療が困難な患者さん、局所麻酔が奏効しにくい患者さん、侵襲の大きい処置が必要な患者さんなどを対象として、リラックスした状態での無痛治療を行っております。事前に表面麻酔を貼付して痛みを与えることなく静脈を確保し、精神緩和薬や静脈麻酔薬を投与して、鎮静状態、入眠状態で治療を行っています。覚醒も極めて迅速で、処置終了数十分で帰宅できます。

両外来とも御紹介は、平日9：00～16：00、土曜9：00～12：00 随時受け付けております。事前に電話予約（電話：03-5275-1851, fax：03-5275-1750）を頂ければ幸いです。



口腔顔面痛みセンターでのペインクリニック



リラックス治療外来での鎮静法下歯科治療

保 存 科 紹 介

水道橋病院保存科 森山貴史

水道橋病院保存科は現在、教授1名、講師3名、助手2名、臨床研修医（卒後2年目）3名の計9名の常勤歯科医師に若干名の非常勤歯科医師を加えたスタッフで診療を行っています。臨床研修医以外のスタッフは全員、歯学博士の学位を取得し、日本歯科保存学会指導医・認定医や日本歯周病学会認定医などの専門治療の資格も持っており、保存領域の専門的知識や技術を有しています。

先生方の日々の診療において、保存領域の難症例などお困りの場合には、いつでもご紹介いただければ即座に対応致します。処置内容としては、ラミネートベニア・クラウンなどの審美修復、再生療法も含めた歯周外科手術などが必要な歯周病の難症例、歯内療法難症例への対応（現在、マイクロスコープ導入予定で準備中）などを得意分野としております。

ご紹介の際には、宛名を「水道橋病院保存科」とした紹



断層写真を利用した治療説明

介状を添付して戴き、患者様に初診で来院されるようご指示下さい。なお、初診受付は午前9時から11時まで（第2土曜日と8月の毎土曜日は休診）ですが、11時前後の時間帯は大変混雑し長時間お待たせすることがありますので、なるべく早めのご来院をお勧めしています。

ご紹介戴いた先生には担当医から治療経過などのご報告も致しますし、患者様が当院での処置後にご紹介先にお戻りになる際には、診療情報提供書も添付致しております。先生方からのご紹介をお待ちしておりますのでよろしくお願い致します。



保存科診療室風景

水道橋界限スケッチ



▲ 水道橋由来(レリーフ)何処にあるでしょう？



▲ 水道橋畔から水道橋校舎を望む

▲ 水道橋欄干の親柱(橋名板)

東京歯科大学水道橋病院 直通電話番号（各科受付）一覧 ＜水道橋病院各科へは以下の番号にお問い合わせ下さい＞

保 存 科 総 合 歯 科 ス ポ ー ツ 歯 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 7 2 1
口腔インプラント科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 7 6 0
補 綴 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 7 2 2
小 児 歯 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 7 2 3
矯 正 歯 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 7 2 4
口 腔 外 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 7 2 5
歯 科 麻 酔 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 8 5 1
眼 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 8 5 6
放 射 線 科	0 3 - 5 2 7 5 - 1 9 5 3
庶 務 課 FAX	0 3 - 3 2 6 2 - 3 4 2 0

水道橋病院 診療案内

初 診 受 付	平日、土曜とも 午前9時から午前11時
診 療 時 間	平日 午前9時から午後4時30分 土曜 午前9時から午後12時
休 診 日	第2土曜、日曜、祝日、 本学創立記念日（2月12日）、年末年始

※土曜日はスタッフ数が半減いたしますので、患者様を御紹介頂く際は御迷惑をおかけしないために、できれば平日にお越し頂くようお願いいたします。

編 集 後 記

この度柿澤新病院長の発案により、東京歯科大学水道橋病院の情報発信誌として「水道橋畔発」を年2回の予定で発行することとなりました。近年の社会情勢から水道橋病院も大きな変革の必要な時期にさしかかり、その一環としての情報誌となります。

校歌にも歌われており皆様にも馴染みの深い水道橋畔から、少しでもお役に立つ情報がお送りできればと思っております。暫くは水道橋病院各科の紹介と患者様の依頼方法等について順次お知らせしていく予定ですが、皆様からの御意見、御要望をお知らせいただければ出来るだけお答えしていきたいと思っております。また、診療各科への直通電話番号等は毎号継続して掲載いたしますので、何かのうちに御利用頂ければ幸いです。

（文責 堀田宏巳）

水道橋畔発編集委員

編 集 委 員 長	柿澤 卓
編集副委員長	堀田 宏巳、高野 正行
編 集 委 員	大多和由美、関根 秀志、福田 謙一 宮崎 晴代、森山 貴史、渡部 光弘